

教育研究業績書

所属	職名	氏名	学位
こども教育学部	講師	中本 貴規	修士(教育学)

I 教育活動

教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 飯田市子育て支援拠点「わいわいひろば」との共同企画「お芋の会」実施	令和3年5月 ～令和6年11月	飯田市子育て支援拠点「わいわいひろば」との共同企画で、未満児親子を対象とした「お芋の会」を実施した。さつまいもの植え付けから収穫、焼き芋まで一貫した年間プログラムである。学生も参画することによって、親子の関わりを学び、食育とのつながりを体感する機会になっている。
南信州有志保育士連合「傾奇組」との共同授業	令和4年9月 ～令和7年2月	南信州有志保育士連合「傾奇組」と協力し、学識者としての視点と現場保育士からの視点を融合させた形での授業を展開した。学生が保育現場をより明確に知る機会になり、現場保育士とつながる場にもなっている。
遠山郷プロジェクト「遠山郷ESD塾」□	令和6年2月 ～現在に至る	立教大学ESD研究所と飯田市との間で結ばれたESD地域創生連携協定に基づく活動である。飯田市遠山郷地区の公民館と立教大学ESD研究所が協力し、同地区の小・中学生を対象とした自然体験活動を実施し、その講師を務めている。学生もボランティアとして関わることを可能とし、子どもとの自然体験ができる場を設けている。□
飯田短期大学YouTubeチャンネル「応急手当」動画□	令和6年2月	飯田短期大学公式YouTubeチャンネルにて、救急法に関する簡易的な動画を5本公開。これまでに応急手当に関しての講義を受けた一般受講者・学生への振り返りの場として設けている。□
南信州有志保育士連合「傾奇組」10周年企画記念イベント「ひろみち&たにぞう&かぶきぐみ with プンブン 親子でレッツ笑(しょう)time」の運営	令和6年7月	研究室の活動として、南信州有志保育士連合「傾奇組」ととも佐藤弘道氏、谷口國博氏を招き、親子ファミリーコンサートの運営を行った。運営には学生も参画し、保育イベントの企画運営を学ぶ機会を設けた。
飯田女子短期大学 授業評価アンケート□	令和2年8月 令和3年8月 令和4年8月	飯田女子短期大学での「身体表現(創作ダンス)」を受講した学生を対象に授業評価アンケートを行った。授業に関する満足度、教員の指導力等について95%以上の学生から満足との回答を受けた。□
飯田短期大学 授業評価アンケート□	令和6年2月	飯田短期大学での「子どもと環境」を受講した学生を対象に授業評価アンケートを行った。授業に関する満足度、教員の指導力等について95%以上の学生から満足との回答を受けた。□
(2)作成した教科書・教材・参考書		

1. 自然保育と環境教育・ESD	令和5年3月	幼児の自然体験教育や自然保育に関する実践と研究の成果を紹介した書籍である。森のようちえんや自然体験、環境教育に携わる研究者・実践者による報告や基調講演、鼎談の記録もあり、自然保育と環境教育・ESDの理解に最適な書籍である。自然保育実践者による報告や保育士養成校でのカリキュラムの紹介など、実践的な内容を多く紹介することで、研究者向けの内容だけではなく、保育者や保護者・学生にとっても理解しやすい内容になっている。
2. 持続可能な社会をつくる幼児期のESD論(子どもと環境)□	令和6年2月	幼稚園教諭・保育士資格の必修科目である「幼児と環境」を踏まえ、持続可能な社会を担う子どもたちを育むために求められるESD論を学ぶのに最適な理論と実践の入門書である。本書は、大学や保育現場などで研究・実践している筆者が「保育者養成校や保育所、幼稚園、認定こども園が地域と連携し、地域資源を活用したESD実践」を紹介し論考することで、幼稚園教育要領の領域「環境」の視点から地域連携を核とした幼児期のESD論を提起することをめざしている。
(3)教育方法・教育実践に関する発表、講演等 こどもゆめ基金助成事業 園児・児童を対象とした自然体験活動 講師	令和2年8月 ～令和6年11月	飯田・下伊那地域在住の園児・小学生を対象に飯田短期大学構内でネイチャーゲーム講座を実施した。また、学生スタッフを入れることによって、自然体験活動の方法や子どもたちの反応について、学生の理解を深める機会になった。
飯田女子高校2年生 家庭科 講師	令和2年8月 ～令和6年9月	家庭科の授業を一部担当し、高校生約120名に対し、保育現場で行われている自然体験について実技を交えながら指導を行った。□
飯田市子育て支援拠点「わいわいひろば」□ 親子運動遊び 講師	令和2年11月 ～令和7年2月	未就園児とその保護者を対象とし、家庭でもできる親子運動遊びの紹介、子どもの運動能力向上についての講義を行った。
長野県元気づくり支援金事業 「保育に関わる人のための安全対策講座」 講師	令和3年5月 ～令和4年3月	長野県南信州地域に在籍する保育者(約120名)に対し、保育中の事故事例分析の方法や危険予知トレーニングの指導に関わる講座(全3回)及び応急手当の講座(全5回)を担当した。学生も参加することで、知識や技術を身につけるとともに、参加者(保育者)とのつながりづくりの場を提供することができた。□
聖クララ幼稚園 保育園研修 講師□	令和3年6月 ～令和3年10月	聖クララ幼稚園に在籍する職員10名を対象に、保育に活用できる自然体験活動として、様々な感覚を用いて、自然を直接体感することのできる「ネイチャーゲーム」を紹介した。□
幼保連携型認定こども園 慈光幼稚園 職員研修 講師□	令和3年7月	慈光幼稚園に在籍する保育士13名を対象に、保育で活用できる運動遊びとして、ドイツ発祥ボール遊び「バルシューレ」の指導を行った。
箕輪町立上古田保育園 自然体験活動 講師	令和3年10月	保育士・園児(約40名)を対象に、保育に活用できる自然体験活動として、様々な感覚を用いて、自然を直接体感することのできる「ネイチャーゲーム」を紹介した。□
箕輪町保育協会保育士研修 講師□	令和3年10月 ～令和3年11月	保育士(約80名)を対象に、保育に活用できる自然体験活動として、様々な感覚を用いて、自然を直接体感することのできる「ネイチャーゲーム」を紹介した。□

平谷村教育委員会ひらひら平谷 職員研修 講師□	令和3年10月	平谷村教育委員会ひらひら平谷職員8名を対象に、安全対策講座、小児救急法講座、自然遊び講座を実施した。□
泰阜村教育委員会 防災講座 講師□	令和3年11月	泰阜村村長、役場職員、各地域の区長など約50名を対象に、グループワークを中心とした防災講座を実施した。□
宮田村保育士研修 講師□	令和3年11月	宮田村公立保育園に在籍する保育士(50名程度)を対象に、保育で活用できる運動遊びとして、ドイツ発祥のボール遊び「バルシューレ」の指導を行った。
飯田産業技術大学講座 講師□	令和3年12月	飯田市内に拠点を置く一般企業の人事担当者(約10名)を対象とし、「運動とレクリエーション」のテーマのもと、アイスブレイクの指導を行った。□
松川町保育士研修 講師□	令和3年12月	松川町公立保育園に在籍する保育士(約60名)を対象に、保育で活用できる運動遊びとして、ドイツ発祥ボール遊び「バルシューレ」の指導を行った。
飯田市保育補助員研修 講師□	令和3年12月 ～令和6年9月	飯田市内公立保育園に所属する保育支援員を対象に、「いいだ型自然保育」についての解説、保育現場で活用できる自然体験活動の紹介を行った。□
下伊那主任保育士研修 講師□	令和4年6月	下伊那郡公立保育園の主任保育士(約30名)を対象に保育中の安全管理や事故事例分析の方法についての解説や危険予知トレーニングの指導を行った。□
阿南町保育士研修 講師□	令和4年8月	阿南町公立保育園に所属する保育士(約30名)を対象に危険予知トレーニングの指導を行った。□
伊那市保育士研修会 講師□	令和4年10月	伊那市公立保育園に所属する保育士(約30名)を対象に危険予知トレーニングの指導を行った。□
泰阜村教育委員会 寄附講座 講師□	令和4年10月	泰阜村在住の高齢者12名を対象に健康づくりを目的として、保育で用いられる遊びを応用した運動及びボールを使ったエクササイズを紹介した。□
駒ヶ根市保育士研修 講師□	令和5年5月 ～令和5年6月	駒ヶ根市内全ての幼稚園・保育園に在籍する保育者(約80名)を対象に、AEDの使用方法、CPRの方法、軽度の傷害の対応方法について解説し、実技を交えて指導を行った。
飯田市立鼎小学校 クラブ活動 講師	令和5年8月 ～令和6年9月	鼎小学校でのクラブ活動「大学の先生から学ぼうクラブ」で、児童20名を対象に自然体験の講師を担当した。
こどもゆめ基金助成事業 運動遊び教室「バルシューレ」 講師□	令和5年8月 ～令和6年10月	飯田・下伊那地域に住む小学年3年生～6年生12名を対象としたボールを使った運動遊び教室「バルシューレ」を開催した。当日は学生スタッフも導入し、子どもとの関わりを通して運動遊びについて学びの機会を提供することができた。□
長野県元気づくり支援金事業 「災害に備えよう！～それぞれにあわせた災害への備えを！～」 講師□	令和5年10月 ～令和6年2月	長野県内在住者を対象とし、災害時に役立つ応急手当の方法を解説、実技も交えた指導を期間内に5回実施。学生も参加することで、応急手当の知識や技術を身につけるとともに、一般の方々とのつながりづくりの場を提供することができた。□
飯田市保育士研修 年中部会 講師□	令和5年11月	飯田市内公立保育園年中担当者(約20名)を対象に、園児との自然散策での注意事項、散歩中に活かせる自然遊びの紹介をした。□

飯田市長時間保育士研修 講師□	令和5年11月	飯田市公立保育園に在籍する長時間保育担当者(約50名)を対象に屋外保育を想定した危険予知トレーニングの指導を行った。
阿南第一中学校 健康フォーラム 講師□	令和5年11月	阿南第一中学校在籍の生徒(約70名)、教職員(約20名)、保護者(50名程度)を対象に、「傷害予防につながる準備と考え方」の講演会を担当した。□
飯田市子育て支援拠点 わいわいひろば職員研修 講師□	令和5年12月	わいわいひろばに在籍する職員(7名)を対象に、救急救命講習(MFA「チャイルドケアプラス™」□)を実施した。□
下伊那教育会 飯伊幼年教育研究会 講師□	令和6年6月	飯伊幼年教育研究会に所属する保育士・小学校教諭57名を対象に保育・教育に活かす自然体験活動および安全対策についての講座を実施した。□
慈光松尾こども園 職員研修 講師	令和6年10月 ～令和6年11月	慈光松尾こども園在籍の職員(約40名)を対象に、「保育・教育に活かす自然体験活動」「保育・教育に活かす安全対策」の講演会を担当した。□
飯田市公立保育園 未満児・支援保育士研修 講師	令和6年11月	飯田市公立保育園に在籍する未満児・支援保育士(約30名)を対象に屋外保育を想定した危険予知トレーニングの指導を行った。□
根羽村立根羽保育所 自然体験活動 講師	令和6年11月	保育士(5名)・園児とその保護者(12組)を対象に、様々な感覚を用いて、自然を直接体感することのできる「ネイチャーゲーム」の講演会を担当した。□
(4)その他教育活動上特記すべき事項		

Ⅱ 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著 の別	発行または発表の 年月	発行所、発表雑誌 (及び巻、号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
1. 自然保育と環境教育・ESD	共著	令和5年3月	北海道自然体験サポートセンター	能條歩、田中住幸、中本貴規、陳倩倩、高木晴光、山口美和、大道香織、田口夏美、板垣有咲、中井裕之、伊藤輝之、増田直広、内田幸一	pp.172～189
2. 持続可能な社会をつくる幼児期のESD論(子どもと環境)	共著	令和6年2月	人言洞	降旗信一、菊池稔、田中住幸、増田直広、地下まゆみ、小野瀬剛志、中本貴規、岡健吾、陳倩倩、板倉浩幸、仙田考	pp.67～82
(論文)					
1. 中学校体育授業「剣道」における指導内容の検討—男女共修のあり方を中心に—	共著	平成29年5月	鳴門教育大学 授業実践研究 第16号	木原資裕、西本浩章、中野竜太郎、徳永綜一郎、木島拓也、中本貴規、藤岡 莉子、篠原健真、田村律子	pp.89～99□
2. アサーショントレーニングと野外活動の関係性	共著	平成30年2月	鳴門教育大学 学校教育研究紀要 第32号	中本貴規、南隆尚、能條歩	pp.19～25

3. 野外教育における活動量とコミュニケーションの関係性に関する試み	共著	平成30年2月	鳴門教育大学 学校教育研究紀要 第32号	南隆尚、松井敦典、坂口聖徳、中本貴規	pp.225～228□
4. アサーショントレーニングと野外教育の関係性	単著	平成30年3月	鳴門教育大学大学院 学位論文(修士課程)		
5. 対話的な学びのための自然体験教育による「建設的コミュニケーション力」の育成～集団宿泊学習における野外教育プログラムの検討～	共著	平成30年8月	北海道教育大学紀要 教育科学編 第69巻 第1号	能條歩、中本貴規	pp.191～197□
6. アサーショントレーニングと野外教育の関係性	単著	平成30年9月	日本教育大学協会 専攻学生修士 論文推薦論文集		
7. 幼稚園・保育所・認定こども園の安全管理の実態に基づいた支援活動	共著	令和2年5月	飯田女子短期大学 研究紀要 第37巻	田中住幸、宮下幸子、 中本貴規、能條歩	pp.99～118□
8. 自然体験教育と環境教育の視座から見た日中の幼児教育における一考察	共著	令和2年8月	北海道教育大学紀要 教育科学編 第71巻 第1号	陳倩倩、能條歩、田中住幸、中本貴規	pp.247～262□
9. 屋外での保育における保育者の危険予知、回避・コントロール、対策能力向上に向けた教材開発	共著	令和3年5月	飯田女子短期大学 研究紀要 第38巻	田中住幸、中本貴規、 松永幸代、宮下幸子、 能條歩	pp.157～162□
10. 乳幼児の保護者の主観的幸福感や自然に対する肯定的態度と教育観との関係	共著	令和3年8月	北海道教育大学紀要 教育科学編 第71巻 第1号	田口夏美、能條歩、田中住幸、中本貴規、陳倩倩、板垣有咲	pp.537～552
11. コロナ禍における乳幼児の保護者の「困り感」	共著	令和3年8月	北海道教育大学紀要 教育科学編 第71巻 第1号	能條歩、田口夏美、田中住幸、中本貴規、陳倩倩、板垣有咲	pp.475～484□
12. 危険予知トレーニングの保育者養成校における展開方法の検討	共著	令和4年3月	札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要 第52号	田中住幸、中本貴規、 能條歩	pp.103～115□
13. 学校安全をめぐる研究の到達点—SDGs研究の視点から—	共著	令和6年6月	農学・環境系の教職実践研究8巻2号	降旗信一、井村礼恵、山本理、板倉浩幸、谷萩真樹、岡健吾、中本貴規、吉村親、田中住幸、ZHANG	pp.19-25
(その他)					
1. アサーショントレーニングと野外活動の関係性	共同	平成29年6月	日本野外教育学会 第20回大会 (開催場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター)	中本貴規・南隆尚	

2. 自然との距離を縮めるプログラムにおける建設的コミュニケーション力の育成	単独	平成29年9月	日本環境教育学会 第28回大会 (開催場所:岩手大学)		
3. アサーショントレーニングと集団宿泊活動の関係性	単独	平成31年3月	日本環境教育学会 北海道支部大会2019 (開催場所:北海道教育大学サテライト)□		
4. 乳幼児の保護者の主観的幸福感と自然に対する態度の関係について	共同	令和2年11月	日本自然保育学会 第5回大会 (開催場所:オンライン)□	田口夏美、能條歩、田中住幸、中本貴規、陳倩倩、板垣有咲	
5. 自然体験教育と環境教育の視座から見た日中の幼児教育における一考察	共同	令和2年11月	日本自然保育学会 第5回大会 (開催場所:オンライン)	陳倩倩、能條歩、田中住幸、中本貴規	
6. 乳幼児の保護者の主観的幸福感と自然への態度との関係が教育観に与える影	共同	令和3年3月	日本環境教育学会 北海道支部大会2021 (開催場所:北海道教育大学サテライト)	田口夏美、能條歩、田中住幸、中本貴規、陳倩倩、板垣有咲	
7. 保護者の自然観と教育観がこどもの自然体験に与える影響—日中の幼児教育における比較—	共同	令和3年3月	日本環境教育学会 北海道支部大会2021 (開催場所:北海道教育大学サテライト)	陳倩倩、能條歩、田中住幸、中本貴規	
8. 森へおいでよ〜ずっといたくなる森へ〜長野県最南端の小さな村の今とこれから〜	共同	令和4年3月	日本環境教育学会 北海道支部大会2022 (開催場所:北海道教育大学サテライト)	太田真智子、中本貴規	
9. 大学連携による自然保育者養成の試み	共同	令和4年3月	日本環境教育学会 北海道支部大会2022 (開催場所:北海道教育大学サテライト)	増田直広、中本貴規	
10. 自主企画シンポジウム 自然保育および一般的な幼児教育・保育の現状と保育者養成の課題	共同	令和5年6月	日本野外教育学会 第26回大会 (開催場所:北海道教育大学岩見沢校)□	田中住幸、陳倩倩、中本貴規、酒井俊郎、能條歩	
11. 幼児期における自然体験を通したコミュニケーション	共同	令和6年8月	日本環境教育学会 第35回大会 (開催場所:江戸川大学)□	中本貴規、降旗信一	

Ⅲ 学会等及び社会における主な活動

平成29年5月—現在に至る	日本環境教育学会 会員
平成30年7月—現在に至る	日本体育学会 会員
令和元年7月—現在に至る	日本環境教育学会 北海道支部 運営委員
令和2年4月—現在に至る	日本自然保育学会 会員
令和2年4月—現在に至る	信州幼児教育研究会 会員
令和2年11月—現在に至る	大学スキー研究会 会員
令和5年4月—現在に至る	日本野外教育学会 会員

令和6年4月ー現在に至る	農山村ESD研究会 会員
令和7年3月ー現在に至る	共生社会システム学会 会員